

※①・第一層協議体 ②・第2層協議体 ③・個別ケア会議 社・社協 他・その他

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
206	1		1				12/1	コスモスⅡ		参加7名 リーダー4名 リハ職1名 包括1名	コスモスⅡリハ活同行訪問 転倒についてのリスクと予防のための基礎知識を講座形式で学ぶ	コロナでなかなか実施出来ていなかったが、ようやくの開催。身近なテーマで我が事のように聞き入り、質問も活発に行われていた。関心をもって予防に臨むイメージづくりの啓発の重要性を感じる。
207	1			1			12/3			ヘアサロン寛 店主1名 包括職員1名	ヘアサロン寛訪問 近隣より店主の認知症を心配されて、様子確認訪問であったが、理髪店という社会資源訪問も目的にお邪魔する。	店主も高齢で一人営業の為、訪問理由は体力的にNGとの事。 利用客も高齢の為、包括ホ「stカード」を置いてもらい相談窓口の周知を依頼。
208						他	12/5			実行委員11名 包括1名	道草市直前打合せ 当日会場のレイアウトや段取り確認。かくれんぼ企画の検索対象者依頼をし、実行委員及び自治会からの協力を得ることなる。	出店者数も増加し、次年度の開催計画年3回実施も方向性が出来、地域のイベントとして定着してきている。包括周知の場として今後の工夫も求められる。
209	1		1				12/6	さくら体操		会員8名 PT1名 包括1名	四小さくら体操リハ活同行訪問	コロナ禍での直接指導ということで、アドバイスの伝わり方がリアルに感じられる。高齢者は特にオンラインのコミュニケーションとの差を感じられる。
210	1		1	1		②	12/7		第2層協議体	サロン連絡会 4団体5名 市職1名 包括1名	サロン連絡会実施	サロン活動・行事について意見交換 各々の工夫や課題を知ることで自身の活動に活かせる場でありたい、話し合いで出た課題のフォローアップ（今回は行事保険の詳細）などは、事務局の立場で調べて情報提供し、連絡会の付加価値を高めていきたい。
211				1		他	12/7			市職1名 包括3名	12/14お隣さんカフェ啓発活動打合せ	啓発のための寸劇シナリオ読み合わせ
212	1			1			12/10			参加約250名 実行員・ボラ 約20名 市職1名 内包括2名	道草市実施	好天に恵まれての開催。見守りあいアブリイベントは子ども連れの若い世代には周知が行えるが、高齢者向け包括周知としては伝わらない為、工夫が必要。今後、アブリイベントと並行して簡易スマホ相談なども要件等！
213				1		他	12/12			カフェT氏1名 市民1名 市職1名 包括3名	12/14お隣さんカフェ啓発活動打合せ	お隣さんカフェ協力者T氏を交えてのシナリオ確認。読み合わせ通し稽古

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
214	1		1	1			12/14			市民約30名 市職3名 包括3名	お隣さんカフェ啓発 朗読劇実施。上演後会場との意見交換などにより啓発	印刷物やワークショップなどより、直接的に課題が伝わるようで、生の声を沢山聞くこともでき、多くの方々の関心を集められた。啓発イベントとして手ごたえを感じられた。
215						他	12/15			プロボノ6名 Iパ' 2名 市職3名 包括4名 内Zoom参加3名	プロボノ/加賀マ-ツ-ヤニ-WS 成果物のブラッシュアップとしてのWS	啓発の方針や概要をつかむには分かりやすいものが出来たと感じられた。今後、これを活用しアクションプランを作るかは、まだまだ自身のイメージが出来ていないのが正直な感想
216	1			1			12/15			けやき会15名 市職2名 包括1名	けやき会けんぽうにアライ専門員会学習会『後期高齢者医療保険制度についての学習会』 その他、包括ニュース配布	介護保険同様、非常にわかりづらい仕組みで参加した高齢者にも難解な内容に思えた。
217						他	12/15			市職3名 包括3名 PT1名	NK氏/C型個別ケア会	自宅近くの社会資源を提案。個別ニーズにあった情報提供できるよう、更なる引き出しが必要。
218	1						12/15			コスモスII F氏	年内無事終了のご挨拶の電話連絡をいただく。	早速、生涯学習課の出前講座資料を入所、その際、小金井カルタの旗布を問い合わせたところ販売はしていないが、貸出し可能との事。活動で小金井の事を楽しく学べると活用し前向きなお話をおききする。 ピアサロンの解散を聞き、組織の高齢化課題を我が事と考えていらいらかった。
219	1			1		他	12/20			杏の家 職員2名 利用家族4名 包括1名	地域密着運営推進会議/杏の家 活動報告を聞くとともに、包括からの情報提供などを行う。	コロナ禍で数少ない地域密着運営推進会議の開催。継続して開催され参加しているが、感染症対策で地域との交流が途絶えていることは大変残念。
220						他	12/21		生活支援連絡会	市職2名 包括職員4名	第8回生活支援連絡会 ※次第に準じる	※令和4年度第8回生活支援連絡会議事録参照
221	1						1/4			サロン連絡会 4団体リーダー 連絡調整	2月3月のサロン実施予定日の確認と連絡会調整などで電話連絡	各リーダー、サロン活動への積極的なご様子は変わらず、本年も活動の伴走者としての支援を心がけていきたい。
222							1/4	その他		まちおこし協会 K氏	認力フェエへの出演依頼 『小金井今昔』回想法となる映像と歌のイベントを計画。	出演快諾をいただく。 道草市での繋がりから、地域活動の一環として提案をいただき、出演協力に至る。

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
223	1						1/11	町会・自治会		前原町1丁目自治会副会長 T氏来所	12月に会長が交代したとの事で報告の来所。包括ニュースはT副会長がご担当いただくとの事。	後日、前任会長より電話にて退任ご挨拶をいただく。ご体調などの退任理由でないことをお聞きしますー安心。今後も前原町1丁目自治会との連携をお約束しご連絡を終える。
224	1						1/11	さくら体操		4小の会 S代表	活動訪問するが不在。電話にて連絡。S氏の体調不良により、急な活動休止との事。	H氏の転居依頼、S氏のお他リーダがおらず、体調不良などでは活動が滞ってしまう不安定さを知る。
225	1						1/11	ピア・サロン		ピアサロン 氏	第三回困りごと検討会のご案内に電話連絡。日程調整依頼と別途のリハ活実施日の確認を行う。	検討会は若干遅れるが、ご出席予定。
226	1		1				1/17	おしゃべりサロン		サロン参加者 24名 リハ職1名 包括1名	リハ活同行訪問。フレイル予防をテーマにリハ職より講話。(配布資料文字が小さかったこと、お話中心であった) 包括より、講話の中で取り上げられた予防体操の実技指導を要請し実施する。	高齢者の集中力と視力低下などの特性をつかんで講座を行うことは大切。講座実施にとらわれず、実のある開催を意識することは実施側の課題と感じられた。
227	1						1/17	野川自然の会		代表S氏	包括ニュースお渡しする、また第三回検討会の出席を確認する。	S氏は民生委員の地区副会長もしており、当日は民生員会長と重なったため検討会への出席は辞退。
228			1				1/17	町会・自治会		前原町連合町会 N会長	おしゃべりサロンにて、前原町会連合町会福祉研修会の打診あり。担当課、包括、リハ病院で調整してお返事することとする。	地域住民へのリハビリティ活動啓発、通いの場の重要性を周知する目的で実施調整を行うこととなる。
229							1/17	コープ小金井貫井坂下店		コープみらい 担当K氏	スマホ相談会会場の相談概要を説明し資料をMailすることをお約束し、検討の上ご回答いただく事となる。	会場協力の意向を頂いた際の、都への申請・依頼やコーディネーターなど市担当と連携して行いたい。
230						他	1/18		生活支援連絡会	市職2名 包括職員4名	第9回生活支援連絡会 ※次第に準じる	※令和4年度第9回生活支援連絡会議事録参照
231				1			1/18		包括ニュース	公共機関/公民館・図書館など15施設	メール便で配架依頼	隔月定期配架
232						他	1/19			小金井リハHP 2名 包括2名	リハ活Zoomミーティング 直近の派遣事業についての打合せ ①サロン連絡会 ②前原町連合町会福祉研修	①リハ職のプログラム案とサロンリーダーのニーズに合わせた実施内容に調整。4サロンの体力差や会場環境の違いなどもあり、指導内容への制約もあることを再確認。 ②3/3実施調整。フレイル予防をテーマに町会役員に通いの場の重要性を啓発の方向で実施概要確認。

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
233	1			1			1/21		包括ニュース	訪問配布 町会、自治会 22か所 老人クラブ 4カ所 まちづくり協会 警察/消防3カ所	包括ニュース2.3月号、事前に電話連絡の上、訪問配布。	隔月の定期郵送実施 配布前に町会役員には事前に電話で回覧依頼実施。 顔が繋がらない分だけ、ポストインだけで終わらないように心がける。適宜、コロナ禍での活動の変化やご様子をうかがうこともある。 どの自治体もコロナ以前というわけにはいかないが、役員会や研修会の再開等、withコロナへ向けてできることから活動再開している様子。
234			1		1		1/21			貴井住宅在住 H氏(73歳男性)	包括支援係より依頼があった方を、南部長生会の健康麻雀へつなく。 南部長生会の会員増活動にも寄与。	今回のように市報を見てスマホ講座参加⇒応援マップを見て参加希望⇒ご紹介に至る。のように活動の場に出てくる積極的な方は良いが、大多数の引きこもり男性?の地域活動への呼び込みは課題と、このような好事例を身近にし感じる。必要・興味関心⇒情報提供⇒新たな必要・興味関心につなげる道筋を模索。
235	1		1	1			1/21	ピア・サロン		サロン参加者 8名 リハ職1名 包括1名	リハ活同行訪問。腰痛をテーマにリハ職より講話。(配布資料文字が小さかった) 関心の高いテーマであるため活発に質問がされて講話一辺倒というより、質疑応答しながら話が進む感じで参加者から、今日は来てよかったと声をいただく。 3月末活動終了後の受け皿紹介として応援マップ・ブック、包括ニュースを参加者に配布	1/23の萌え木ホール会場は、小金井消防署K氏による防火講話との事
236				1			1/24		包括ニュース	まちば薬局	包括ニュースお届け	隔月定期配布
237				1			1/26			前原町4丁目 町会H副会長	C型介護予防講座周知チラシの追加要請をお電話でいただく。 町会役員会は隔月開催。普段は情報共有する機会 は回覧以外にない。役員情報共有であれば追加13部との事。	4丁目町会はコロナで役員会開催は隔月第三水曜日との事。但し1.2.3月は役員改正に伴い毎月開催と実施情報をいただく。
238			1				1/27			前原町会連合会 N会長	連合会福祉研修会日程3/3午後で進めたい。会場 確定は2/1以降との事。電話連絡いただく	実施に向けて研修趣旨をお伝えし、プログラム協力を頂く旨お伝える。実施に向け詳細を詰めていく事とする。
239			1				1/30		包括ニュース	ひこばえ氏	包括ニュース折込済み封筒を納品いただく。	ひこばえデイ利用者の機能訓練と役割づくりに一役買っているご様子。
240				1			1/31		包括ニュース	医療機関(116) 介護関連(174) 民生(18) 通いの場(28) ケース(449)	包括ニュース郵送など	隔月の定期郵送実施

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
241						①	1/31		第1層協議体	委員6名 市職5名 包括4名 傍聴1名	第3回第一層協議体 ※次第に準じる	※令和4年度第3回第一層協議体議事録参照
242	1			1			2/2	町会・自治会		委員会13名 市職3名 包括1名	効用・ポ・ス/ツ/アワ専門員『けやき会』定例会 消費者被害防止の講習会へ活動訪問 参加者に応援マップと包括ニュースを配布。役員 へは来期以降の事業相談。	管理会社が変わり、受付の管理人滞在時間が短く なったため、出入り事業者の目配りが減り、消費者 被害が増えていると役員がぼやかれていた。タイム リーな講習会で皆熱心に聴講。
243		1					2/3			JKK すまいるツタウト N係長	JKKすまいるツタウトN係長へ電話連絡。貴井住宅 での認カフェ開催にあたっての共催を打診。認カ フェ開催はR5年度4月より、偶数月第4火曜 日、午後2:00~3:30を予定	共催について内諾いただき、実施に向けて日程調整 して、打合せすることとなる。
244	1		1				2/7	さくら体操		四小の会7名 リハ職1名 包括1名	さくら体操四小の会/リハ訪問 DVDの内容を一通り行い指導を受ける。包括から は応援マップとニュースを配布。本会以外での活 動などの情報提供をお願いする。	講師がいると集中できると、皆熱心に取り組む。次 年度も継続しての指導を希望される。
245	1						2/9			C型講座10名 市職2名 講師2名 事業者1名 包括3名	C型講座『口腔・栄養』講義	皆さん熱心に受講されている。口腔についても高齢 者の興味関心が以前より高まっている印象をうけ る。
246			1				2/9	その他		南部長生会 役員F氏 包括職員2名	2/18実施リハ活について、概要確認	講師や包括からのお邪魔する人数、当日の大まかな 流れなど確認。
247	1						2/10	町会・自治会		貴井住宅 自治会K会長	貴井住宅自治会K会長よりTELにて、40代で貴 井住宅民生委員をやっても良いと言っている方が いると連絡あり。	市役所に確認し折返し民生委員担当の地域福祉課S 係長387-9915を紹介する。K会長すぐ電話連絡 してみるとの事。
248	1						2/13			スマサボ受講生 18名 講師2名 市職3名 包括1名	スマホサボーター養成講座初日訪問 今までにない年齢層60代~70代前半の方が多 く、自身の親の世代のデジタルデバイドをきっか けに参加の方もちらほら。	参加者の半数近くがシルバー人材のパソコン班との 事。男性のほとんどがシルバー所属。興味関心には 敏感、社会貢献や就労などが、この世代のキーワ ードのように感じられた。

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
249	1					他	2/13			検討委員25名 プロボノ4名 エンバプ2名 市職3名 包括4名	第三回「高齢者になるとおこりうること」検討会。	チラシ作成から始まったPJが、変化して周知・行動の為にどうすれば良いかの検討に移行。PJを経て当事者市民のロコミカ力の強さを改めて学ぶ。
250	1						2/15			スマサボ受講生 18名 講師2名 市職3名 包括1名	スマサボ講座訪問。 4月15日道草市で行う、シニア向けスマホ相談会ボランティア依頼。	非常に高度な内容を学んでいることに驚き。終了後の活躍の場提供の意味も含めて、道草市のスマホ相談会にお誘い。
251						他	2/19			Zoom開催 約50名受講 包括3名参加	認知症推進会議Zoom参加 ①認知症検診の事例発表 認知症検診事業の説明に加え、みなみ包括より制度活用事例1件 ②認知症初期集中支援事業の事例発表 認知症初期集中支援事業に加え、ひがし包括・きた包括より制度活用事例2件	それぞれの事業説明に加え、制度の活用事例を聞くことで、制度の理解が深まった。また、制度を利用することで、すべての課題解決が出来る訳ではないが、いずれの事例も関係者が孤立することなく連携を強化し支援を継続する事に繋がっており、難しい認知症ケース支援には有効な仕組みであることを学んだ。
252	1					他	2/21			家族5名 杏職員2名 市職1名 包括1名	地域密着運営推進会議/杏の家 活動報告を聞くとともに、包括からの情報提供などを行う。	コロナ禍で地域参加が出来ない現状が続いている。入居者は皆高齢で抵抗力も低い為、感染リスクも高く致し方ない事であるが、地域交流や社会参加の機会が失われるのはもどかしい。
253		1				他	2/21			JKK すまいるアソシエイト 3名 包括 3名	JKK住まいるアシスタントとの貴井住宅集会所 認知症カフェ打合せ	共催することで年間を通して会場確保。他の通いの場からダーツのコンテンツを拾い上げ、JKKの提供コンテンツとなっている。新設の認知症カフェでも協力いただけるとの事。一緒に行うことで相乗効果が生まれると楽しみ。
254						他	2/22		生活支援連絡会	市職2名 包括職員4名	第10回生活支援連絡会 ※次第に準じる	※令和4年度第10回生活支援連絡会議事録参照
255	1		1				2/24	らくらくサロン		会員9名 包括職員1名	サロン取材訪問 『健康寿命を延ばす』ことをテーマにこの日は、最新の健康情報を学びあう場となっていた。座学だけでなく、時には、まち歩きなども行う和気あいあいとした活動	らくらくサロンは代表がO氏よりH氏に交代しており、PCに特化した雰囲気とは違い、柔らかくなったように感じた。男性が多いがバランスの良いサロン活動をしている様子を知ることが出来た。
256			1			他	2/25	町会・自治会		前原町連合町会 N会長 包括1名	3/3実施の連合町会福祉講習会について打合せ	当日の流れや、パネルディスカッション形式で行うための町会登壇者の相談を行う。前原町1.2丁目のおしゃべりサロンは町会も立ち上げに深くかかわったもので身近な事例共有ができればと計画。

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
257	1		1				2/27	ピア・サロン		会員8名 リハ職1名 包括1名	活動訪問及びリハ活実施 フレイルについての座学研修	3月の実施にて解散となるが、代表やスタッフの皆さまはいつものように、季節のお花やお菓子を用意してサロンのおもてなし。長く続いた活動が終わるのが惜しまれる。
258							2/28			受講生 約40名	自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議アドバイザー養成講座1日目 Zoomオンライン開催	二層協議体も地域ケア会議に位置付けられているが、さまざまな地域ケア会議が連動・循環することで、自立支援・介護予防への事業効果が高まる仕組みを学。
259			1	1			3/3			各町会役員 30名 リハ職1名 包括2名	前原町連合町会福祉講習会 リハ活実施『フレイル予防と通いの場』について学ぶ	1. 2丁目町会が支援する、おしゃべりサロンの実践事例を共有し、各町会役員に通いの場の有用性を周知。あわせて地域包括について介護保険以外に高齢者の総合相談窓口であることをお伝えする。
360							3/7			受講生 約40名	自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議アドバイザー養成講座2日目 Zoomオンライン開催	地域ケア会議のたてつけが理解出来たとともに、小金井市で生活支援Coの視点で地域ケア会議をどの様にとらえるかを考える学びとなった。
361	1		1	1			3/8			圏域内サロン リーダー11名 市職1名 リハ職1名 包括2名	サロンリーダー連絡会にて合同研修実施テーマは『フレイル予防とレク』	ピア・サロが最後の参加となる一方、らくらくサロンとコミュサロンはけの参加があった。どちらも男性リーダーの活動であり、R5年度の一層協議体であげられる課題テーマの参考意見を聴取できる団体の連絡会加盟となった。
362	1						3/9			C型ケア会議 市職4名	C型個別地域ケア会議 1名のケースについて二層Coとして参加。	地域ケア会議の研修後、初の個別地域ケア会議。個別の課題から地域課題へ広げる視点を生活支援Coだけが持っても難しいところであり、そういった視点を他参加専門職にも共有する場が必要と感じる。
363	1		1	1			3/13			サブ卒生 13名 講師3名 市職2名 包括3名	サブスタッフ修了生交流会参加 ポッチャ体験会とレクの簡易体験などをし意見交換を行う。	サブスタッフ修了生という資源を無駄にしないよう、楽しい、役に立つなど、修了生にとって交流会に参加することのメリットをつくり、そこからサブスタッフに求められている役割理解や、修了生同士の繋がりがづくりに結び付けていく。そういった意味でプログラムを精査し根気よく交流会を開催して行かなければと感じた。
364						他	3/15		生活支援連絡会	市職2名 包括職員4名	第11回生活支援連絡会 ※次第に準じる	※令和4年度第11回生活支援連絡会議事録参照

回	実態把握	立上支援	運営支援	啓発	個別支援	会議	日にち	団体名	活動(事業・会議等)の名称	人数・メンバー	対応・協議事項	課題・所感・決定事項等
365	1		1				3/16	町会・自治会		管理組合会員 10名 包括職員1名	スカイコーボラス管理組合 シニアライフ専門委員会 けやき会 会員相談会 けやき会参加の住民が集まり、住民で元CMの委員長 の進行で、順次困りごとを話し共有する場。	お互いの困りごとを共有し支え合って行こうとする 取り組みは素晴らしいと思える半面、個人情報の取 り扱いの難しさを感じる。出席者同士が昔からの気 の置けない仲間である場合は良いが、委員会内でも ある種の取り決めが必要と思われる。包括としては 公的な立場としての距離感をもって今後も関わる必 要がある。
366	1						3/17	その他		道草市実行委員 3名 包括1名	包括ニュースへの道草市チラシ折込作業/自治 会・町会回覧向け765部に折込。道草市開催の 広報支援と共に、折込作業時に委員より地域情報 収集なども行う	今回新たに地元農家のTさんと作業する。都会田舎 (トカイナカ)の魅力を知る機会がまた増えた。
367	1			1			3/18	町会・自治会	包括ニュース	前原町 3丁目町会 他8件 消防・警察 まちづくり 観光協会	包括ニュース配布	引続き、コロナ感染症対策で電話連絡の上、ポスト インを基本に配布。 単年度役員 の町会もあり、年度のご挨拶を交わしな がら町会との関係づくりを継続している。
368	1			1			3/20	町会・自治会	包括ニュース	貴井坂下中組自治会 他11件 老人クラブ4件	包括ニュース配布 貴井住宅N会長と認カフェ開催について事前調整 の依頼。 南部長生会T会長より、新たにポッチャを定期活 動に組み込んだとの情報。	貴井住宅においての認カフェ開催は快諾いただく。 老人クラブでもポッチャは流行の様様。
369						他	3/20			リハ職1名 包括2名	次年度リハ活Zoom打合せ	次年度も通いの場への派遣を確認。 活動支援の有効な手段として継続をして行く。
370				1			3/28			参加10名 出演者2名 ボラ3名 包括2名	認カフェにしのだいカフェ ゲストに、まちづくり観光協会のマスター木村氏 に協力を仰ぎ、小金井今昔「昔と今の写真で知る 小金井」を上演してもらった。	道草市繋がりでの協力要請。日頃の繋がりがつくりは 大切と実感。小金井の昔を知る場ともなり、参加高 齢者の反応もいつもと違う表情を見ることが出来、 地域の歴史や郷土・風俗を知ることの大切さを学 ぶ。
371	1						3/31	ピア・サロン		参加約50名 ゲスト2名 社協1名 市職1名 包括4名	ピア・サロン閉会式	活動閉会の場にこれだけ大勢の人が集まったこと に、ピアサロンの歴史と活動の意味が大きかったこ とを知る。反面、28年という長い期間の活動で あったが、担い手の高齢化という課題はどの通いの 場でも訪れる事として、支援者としても感じ入る所 であった。